



📅 2022年3月13日

今月のひとこと

【Vol.231】 今月のひとこと



2022年3月末をもって私の証券市場人生50年目が終了します。東京とブラジルでの国際金融の仕事が4年、ニューヨーク、東京でのアナリスト・ストラテジストの仕事、外資系での年金運用の仕事、投資教育の仕事がそれぞれ15年ずつ、そして今アドバイザーという仕事を社会から尊敬される職業として確立するためにNPO法人、みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA®を設立し、活動をしています。私としてはこれからの人生は私を育ててくれた証券市場と私を支えてくださった多くの方々への感謝を込めて世の中へのご恩奉公の時代だと思っています。



岡本 和久 CFA

私が社会に出た1971年4月1日、この日の日経平均は2414円でした。その夏に起こった大きな事件がニクソン・ショックでした。そしてその2年後にはオイル・ショックが発生しました。そしてこれを書いている現在の値は約27000円程度。ほぼ約11倍となったわけです。これは年率約5パーセント。ニューヨークのダウ平均は年率約7.5%でしたがその間の円高ドル安を考慮するとやはり5%程度です。今、世界は大きな問題をたくさん抱えています。それは過去50年も同じこと。それでも世界の民間企業はみんながより良い生活ができるように働いてくれ、株主のために価値創造してくれていると感じます。これが恐らく証券市場が私に教えてくれた最大のことでないかと思えます。その後、数え切れないほどのクライシスやショックが連発して、そして今、新型コロナウイルスやオミクロンの問題、さらにはウクライナ危機まで起こっています。振り返ってみると危機満載の50年でした。1971年4月1日の日経平均は2414円でした。そしてこれを書いている現在の値は約27000円程度。ほぼ約11倍となったわけです。これは年率約5パーセント。ニューヨークのダウ平均は年率約7.5%でしたがその間の円高ドル安を考慮するとやはり5%程度です。今、世界は大きな問題をたくさん抱えています。それは過去50年も同じこと。それでも世界の民間企業はみんながより良い生活ができるように働いてくれ、株主のために価値創造してくれていると感じます。これが恐らく証券市場が私に教えてくれた最大のことでないかと思えます。

FIWA®からのお知らせ・セミナー予定

FIWA®マンスリー・セミナー #198

開催形式 On Line

開催日時 3月20日(日) 12:30～15:30

講演・講師

岡本 和久 「しあわせ持ちへのロードマップ③ 100歳まで持ちこたえるDIY資産活用」

(株)マネーライフ・プランニング 小屋 洋一氏 「米国FPカンファレンス、事務所訪問を通じて学んだ最近10年間

の米国アドバイスビジネスの変化」

備考 お申込みは開催日の三週間前より以下のサイトにて承ります

<https://happymoney.stores.jp/>

FIWAサムライズ勉強会 #54

開催形式 On Line 今回はオンライン（Zoom）のみです。

ご欠席された方へのアーカイブ配信等はいりませんのでご了承ください。

開催日時 4月14日(木) 19:00～20:45 (入室18:45以降でお願いします)

講演 生活者にとって必要なアドバイスとは何か

定員 50名

講師

山崎 元 (やまざき はじめ) 氏

経済評論家、楽天証券経済研究所客員研究員、国家公務員共済組合連合会資産運用委員会委員、株式会社マイベンチマーク代表。

安野 淳 (やすの じゅん) 氏

金融庁 監督局 証券課 資産運用統括管理官

岡本和久 (おかもと かずひさ) 氏

NPOみんなのお金のアドバイザー協会理事長

会費

一般の方：3,300円（税込）

FIWA認定正准アドバイザー（10%オフ）：2,970円（税込）友の会会員（5%オフ）：3,130円（税込）

お申込先：<https://somerise.net/2022/02/05/1381/>

FIWA®マンスリー・セミナー #199

開催形式 On Line

開催日時 4月17日(日) 12:30～15:30

講演・講師

岡本 和久 「しあわせ持ちへのロードマップ④ DIY資産活用～応用編」

オフィス・リベルタス、経済コラムニスト 大江 英樹氏「世阿弥に学ぶビジネスの極意」

備考 お申込みは開催日の三週間前より以下のサイトにて承ります

<https://happymoney.stores.jp/>

主催：NPO法人みんなのお金のアドバイザー協会

みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA



クラウドファンディングのご案内

「投資」の一歩を踏み出すためのきっかけを。クラウドファンディングで本格版を作りたい！

岩城 みずほ

私たちNPOみんなのお金のアドバイザー協会~FIWAは、2月21日からクラウドファンディング「**もっと投資を身近にするために とっても便利なツールを世の中に提供したい!**」をスタートいたしました。

龍谷大学経済学部竹中正治教授が作成した「株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト」のトライアル版は、すでに私たちFIWAのWebサイトで公開していますが、長期過去データに基づき、株価指数連動型の積立投資のリスクとリターンなどが分かりやすく試算できます。投資の一步が踏み出せない方も、本シミュレーションを使って、投資体験をしていただけるのではないかと思います。どなたでも無料で使っていただけますので、ぜひ使ってみてください!

クラウドファンディングでは、「株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト」本格版の開発資金を集めたいと考えています。みなさんに応援していただいた資金で作る本格版は次のような機能があります。

1. 対象銘柄数を増やし、国内外20種程度の株価指数に連動した長期・分散の定額積立投資のリスク、リターン、運用結果が、その途中経過も含めて簡単にわかります。複数銘柄への投資分散効果も確認できます。投資信託選びの有力な判断材料を提供します。
2. 過去のシミュレーションで得られたリターンとリスクに基づいた将来シミュレーションを可能にします。

例えば今後20年間で3000万円の資産形成を実現するためには、毎月幾らの積み立てを行えば良いか、資産時価総額の振れ幅はどの程度になり得るかなどが一目でわかるようになります。

「過去の実際の株価データに基づいて投資の模擬体験をして頂き、長期・分散・積立投資で高いリターンが実現できることに気が付いて頂きたい。そして効果的な投資に踏み出し、日本でもリッチな資産形成に成功する人が増えることを願っています」 (竹中正治氏)

ぜひみなさまの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

このページを印刷する

カテゴリー

今月のひとこと

タグ

◆ 【Vol.231】 2022年03月15日発行



2022年3月13日

FIWAマンスリー・セミナー講演 1

【Vol.231】2022年どうなる世界の経済、金融市場～熊が団体でやってくる

ブーケ・ド・フルーレット 代表 馬淵 治好氏

今年の前半は、株価が下がったり、外貨安・円高になったりするでしょう。弱気、つまり株価が下がるだろうということ、熊、bear、bearishといいます。そういった株が下がる要因が一つだけでなく団体でやってくるのかなというのが結論です。



いつも個人投資家さん向けには、『今年前半、株が下がるとは思いますが、そこであらうたえないでください。長期投資はずっと続けてください。下がったからといってそこで慌てて売ることはやめてくださいね。』と、お話をします。

今年前半にたぶん株価が下振れするということを見込んでいます。熊を6頭挙げています。ただ大きな熊さんと小さな熊さんが混ざっています。アメリカのテーパリングの影響がアメリカのマーケットなどに与える影響は、1番目の大きな熊さんです。その余波が中ぐらいの2番目の熊さんというかたちで新興国に波乱を起こすと考えています。もう一つ大きな熊さんは、3番目の中国リスク。これは中国経済の成長鈍化、中国政府による産業規制や米中関係の一段の悪化、巨額の債務の後始末等に関する大きなリスクを指しています。

1と3が大きな熊で、2がそれから派生する中ぐらいの熊です。4番目は、日米欧など主要国の経済や企業収益の基調は崩れないと私は思っていますが、勢いが落ちていること。5番目は、供給側のインフレの問題。6番目はヨーロッパの政治面、それと絡んでロシアの動きです。4、5、6の熊一匹だけが冬眠から覚めました。

1、2、3は表に出てきませんでした。という時に、4や5、6だけで世界の株価が大きく下がることはないと思います。ただ、1か3が大きく市場を揺らす中に 4、5、6が乗っかってくると一段と株安が明確なものになるのかなという意味合いで並べています。年前半は、そういう形で株安、外貨安を見込んでいますが、こういった悪材料が前半のうちにテーブルに並んで、それに対して十分なマーケットの反応、株価の下落があれば、その後、世界の景気や金融収益の回復基調が覆るほどのものにはならないと思っていますので、年の後半は長期的な株価上昇基調に戻ると考えています。

今年、不幸にも予想通り株が下がった場合、そこはリスク資産を売却するところではない。現金があればリスク資産に加える。投資家の中では毎月積立型のインデックスファンドへの投資を行っている人も多いと思いますが、手元の現金に余裕があれば少し年央に加えてみるのもいいと思います。個別資産で運用している人であれば、今年の終わりの方が株価は高い可能性があると思うので、下がっても手放さず、ずっと忘れて昼寝をしていけばいいのではないのかとも思います。

また、個人投資家の皆さんは、年央に下がった後、年の後半に上がると信じていたとしても、（実現損にならなくても）評価損が出るだけで夜も眠れなくなるという人もいらっしゃるのでは、そういう人は今のうちに売却しておいて、リスク資産を少し減らしておいて、年央で買うということでもいいのではないのでしょうか。『どれが正解なのか？』と質問をいただくこともありますが、人によって投資の目的、リスク許容度といろいろなものが違うしライフプランも違うので、自分の好きなようになさったらいいのではないのでしょうか。

もう一つ質問が多いのは、『年の前半下がっても、年の後半上がるには、何か転機になる出来事、方向を覆すような出来事がありますか?』です。そういうことがなくても底を打って戻っていると思っています。一つきっかけとして想定されるのは、アメリカの連銀の金融政策が修正されることなのかなと思います。連銀は株価を上げるために仕事をしているわけではないので、株価が下がっただけで金融政策を修正することはあり得ないと思っています。

しかし、株価の下落が急速で大きなものになって、その結果としてそれが経済や金融システムに影響を与える懸念があれば、テーパリングを止める、利上げを止める。再緩和まではいかないと思いますが、金融政策の修正はすると思いますので、それはきっかけの一つとしてあり得るのかなと思います。

『日本株はアメリカ株等に対して劣後していますか?』という質問をよくもらいます。上がってもそれほど上がらないということが起こっています。劣後を引き起こしている背景要因はとても数が多い。しかもその要因の多くが、長期的で構造的なものだと考えています。世の中では何か一つだけ悪いのだと、例えば、岸田政権さえ政策を変えれば日本株は世界をリードするとか、あるいはいろいろな政策、消費税を減税さえすれば日本株は上昇するとか、何か一つよくすれば日本株は大きく挽回すると言っている人がいますが、それはあまりにも安易すぎる考え方だと思います。

多くの構造的な要因を改善しないと日本株は長期的に世界の株に負けると思っています。それには時間も手間もかかるでしょう。ただ短期的に今年の後半株価がリバウンドする局面だけに限れば、日本株が他の国の株より上昇率が高いということはあると思います。一番大切な点は、大儲けをしようとするのではなく、できるだけ損失を限定して退場しないということ。『もう金融資産が0に近くなってしまっ、私は一生投資ができません』という事態を避けるということが今年一番大事なことだよということを、短期志向の方には伝えていきます。そういう観点でお話をしています。

講演では、主要市場の見通しや、主要国の株価を大きく下振れさせるであろう6つの下落要因となる熊さんを、背景や関連性も踏まえ順次わかりやすくご説明いただきました。

フリー・ディスカッション Q&A



原田 | 中国の大手IT企業たまたきが、これからもずっと続くのかどうかという点です。これは米中の覇権争いということもありますので、中国の先端技術が遅れてしまうことになる懸念もあると思います。今は非常に強いですけどね。この点についてご意見をお伺いします。

馬淵 | 中国のIT産業自体をくじきたいとは中国は思っていないと思います。やはり産業としては重要ですし、特に軍事絡みを考えるとITの技術の遅れはITを活用した兵器開発とか軍事展開で他国に遅れることになるので、IT分野自体の進展を妨げようという考えは中国政府にないと思います。ただITの社長がジャック・マーみたいに有名になって、それで金を稼いで庶民から不公平だという不満が高まるとか、有名人になったITの経営者が中国政府や共産党に対する批判をすること自体をとっても恐れていると思います。

当時ジャック・マーが一時、雲隠れしたようにプレッシャーを掛けて、生命の危険を感じるようなところまですると思いますね。そこら辺は分けて考える。だから例えばIT企業が上場して成長していくのであればアメリカに上場することはけしからんということになる。香港であるとか、今度は北京に株式市場を作りましたけれど、うちの国の中でやれという形にしているのだと思います。アメリカに上場することで株価が暴騰して株の保有者が大儲けし、濡れ手に粟で儲けるという批判を庶民からもらうことはけしからんと。

産業自体は発展して、それが軍事も含めて中国や共産党の発展につながることをくじたくはないが、ITの経営者が個人的に成功することはけしからんということですね。ただ、その個人を抑え込むことと、産業を育成することというほぼ矛盾するかもしれないことを同時にできるのか。中国政府はできると思っています。

これはこの問題だけではなくて、不動産をたたき、教育産業をたたき、IT産業をたたきけれど中国の経済を発展させることはできる。それはマクロ的な緩和や財政政策でできると思っています。『今までできたからできるよね?』と中国は多分思っていると思いますので、中国政府自身が「いろいろな規制を出しても、うちがうまくやっっていけるよ」と思っているところが、一番危ないかもしれないと思っています。もしかすると自分たちは大丈夫だと思っているIT産業の規制が、思わぬところでブーメランとして返ってくるかもしれないというリスクはあるのではないのかと思います。

参加者 | 今すごく気になっているのは、アメリカのハイテクのGAFAなどが今後も独禁法等でたたかれるのか、それとも牽引車でこのままいくことになるのか? そのあたりを聞きたいです。

また、中国共産党の不動産とアメリカのGAFAは似たようなところがありまして、あんまりやり過ぎると一般の人たちから反感を買うから適当にたたいておきたいけど、本当に潰してしまったら儲ける要素がなくなるので、ほどほどに死なない程度に生かすというところがあります。中国の恒大をたたいたような市中引き回しの刑にするというようなところは、アメリカはないと思います。とは言いながら、あの辺の元気がなくなってくると、しんどいなという感じがしますその辺のご意見をお聞かせください。

馬淵 | 方向性として、おっしゃる点でアメリカと中国が似ているところはあると思いますが、アメリカは何だかんだいっても資本主義国ですし市場主義国です。民主党の左派を中心に『あいつらけしからんやつだよ』ということはありますが、多分ほぼかたちづくりに終わると思います。

中間選挙もありますので。民主党の左派は「我々は中間層、貧困層の味方です!」ということを出すけど、茶番劇だと思います。上院の公聴会に呼び出していろいろと突っ込んで、『私が突っ込みました!』という実績が議員さんは欲しいでしょうけど、それで終わってしまう。GAFAも、独占的であるという批判をくらっているのは別に今年とか去年の話だけではないので、程度の差はあれ、前から議会に呼び出しをくらっています。それは独禁法上の問題もありますし、「情報管理ができていなくて情報漏洩しているのじゃないですか?」とザッカーバーグがしょっちゅう呼ばれたりしています。

GAFA側も、議会とか政府をどのようにあしらうのか慣れていると思います。『そうおっしゃるのなら、うちの子会社を切り離します』みたいな、人身御供をポンと出して、「これでいすよね」と、お互いシャンシャンと手打ちをするということでしょう。だから、GAFAが政治的な要因で委縮して、それが傾いてIT産業に陰りが出ることはあまりないだろうと思います。

ただそれとは別の話で、アメリカは新陳代謝がすごいので、GAFAが10年後も今と同じように大企業であるかという、それはもしかして疑問、わからないのかもしれないですね。もしかして、今、全然名前も何も聞いたことがないようなベンチャー企業がGAFAに取って代わっているということはあるだろう。そこはまたアメリカの強さでもあります。「GAFAの株を持っていると10年後はウハウハですか?」という、そこは違うかな?と思います。アメリカのIT産業が優勢を保つのかという、僕は保つような気がします。

岡本 | ニつ思い出すのは、20世紀初め頃の自動車産業みたいに、何十社とあって、それがだんだん絞り込まれて最終的にビック3になったという話がありそれと似たような状況なのかな。いろいろな産業でそれも情報化というメガトレンドがある一方で、70年代初めのニフティ・フィフティの相場の時。あの時も似たような買われ方をして、結局オイルショックでバブルは潰れてしまいました。今を見ているとそのどっちになるのかなと、非常に興味があるところですよ。

今GAFAが興隆を極めているのは、一つの時代の大きな流れだろうと思います。今活躍している会社が本当にリーダーになるのかどうかかわからないけれど、これから何年かかけて数社に絞られてマーケットをリードしていくというようなことになるのかもしれませんが。当てるのは難しいのかもしれませんがね。

馬淵 | アップルの時価総額が3兆円を超えて、日本の株式市場の時価総額の半分くらいがアップル1社と匹敵しているという話があり、『どう思いますか?』というお問い合わせもいただきました。ひとつはIT産業自体の隆盛があるので。アップルも順風満帆ではなくて、結構大変な時もあり、それを乗り越えながらやってきた。大昔のアップルと今のアップルは違う会社みたいに変わっているところもあるのかなとは思っています。

その新生アップルが良い会社であり、産業も良いから株が買われている、というところがあるものの、GAFAさえ買っていれば安心だよ、とお金が集まり過ぎてしまい、PERがいくら高くても買われ続けるというその相場は一度転機が来る。それも含めて、今年の前半に大きな調整相場が来るのかなと思っています。

参加者 話題は変わりますが、岡本さんのライフプランを聞いて、アドバイザーがカバーする分野が非常に大きく広いものであることを気づかせてもらいました。

岡本 | 私が言いたかったことは、マネープランはすごく重要ですけど、その大前提となる自分がどういう人生を送りたいのかということを考えることが、すごく重要だということです。そしてそれは、アドバイザーの人に本当に高度な指導力、人間性が要求されるようになり、大変なことだと思います。課題は非常に大きいし、ハードルは高い。でもそれは乗り越えていかなくてははいけないと思います。今日はありがとうございました。

このページを印刷する

カテゴリー

FIWAマンスリー・セミナー講演 1

タグ

【Vol.231】2022年03月15日発行



2022年3月13日

FIWAマンスリー・セミナー講演 2

【Vol.231】しあわせ持ちへのロードマップ Part 1：ライフプラン作りはトップダウン

講演 岡本 和久

自分の中にあるビジョンに沿ったロードマップを見つけ、それに合わせたライフプランを作ることが大切です。ライフプランとは自分探し。マネープランはあくまでもライフプランの一部です。そして人生の伴走者であるアドバイザーと相談者との共同作業の内容とは何か。



ライフプランというと、『無駄な保険をやめましょう』『年金がどうなる?』と考えてしまいます。実はそれはマネープランであり、マネープランはライフプランのごく一部です。その『ライフプランをどのように考えるのか』は、非常に大きな問題です。

『ライフプランはなんですか?』と聞かれてすらすらと答えることができる人は心配ないでしょう。多くの方はわからない。そういう方が、どのようにして自分のライフプランを見つけていくのか、自分の人生の目的みたいなものをどのように探っていくことができるのか、そんなヒントを、今回お話ししたいと思います。

自分の気持ちの中で、「このようになりたい」というものを発掘して、それにあわせてライフプランがあり、その中でマネープランをどう考えるのか、と考えるのが本来だと思います。そういう意味ではまずトップダウンの最初はライフプラン。自分がどういう自分になりたいのか。それを見つめてみるのが大事なのではないのか。やはりひとりの人間のビジョンに沿ったものにならなくてははいけない。

最初はビッグピクチャーです。現状があって、自分がなりたいたい本当の自分はどのようなものなのか、ある程度つかんでみる。この過程で何をしていくのか。それがロードマップになるわけです。人生の目的とは、お金持ちになるわけでもないし、出世をするためでもない。「しあわせ持ちになる」ことです。みんなしあわせになりたいという大きな目的を持っています。

では自分にとって何がしあわせなのか?それを知ることが必要です。それを知る方法は「祈り」だと思います。私自身は特定の宗教の信者でも信仰者でもありません。ただ、自分の体験で思うこととお話します。私自身も毎日お祈りをします。祈りというのはとても大切なことだと感じます。

ライフプランとは、自分探し、自分を見つめることから始まると思います。お祈りの内容を考えてみます。最初は自己利己的な祈りがすごく大きくても、だんだん身近な人のため、所属する組織のため、友達のため、知り合いのため、空間軸がだんだん伸びていく。今だけでなく、少し先のためだと時間軸も伸びる。みんなのため、未来のためのお祈りへと、ある意味進化をしていくわけです。やはり自利を離れた祈りというのが本当に大事です。自分と離れた祈りを進めていくと、だんだん自分自身の中に感謝の気持ちが生まれてくる。

自分史を書く。無意識の自分は、どのようになりたい自分に向かって引き寄せられているのか。そして六つの富（心身の健康、家族・愛する存在、友達・交友関係、楽しみ・趣味、社会貢献、金融資産）のバランスを保ちながら自分のライフ・ミッションに向かってどのように生きていったらいいのか。

二宮尊徳先生がおっしゃる『報徳』という言葉を考えてみてください。天の徳、地の徳、人の徳によって生かされている自分。これをよく理解して、「おかげさま」と「ありがとう」の気持ちで生きていく。

お金に関するライフプランの前に、このような人生を通じてのロードマップを一緒に探りながらいくことがアドバイザーの仕事の中で重要になってくるのではないのでしょうか。本当の人生の伴走者になる。そういう意味で相談相手になってくれるという人がいたらいいですよね。正しい道筋を示してくれる。アドバイザーになるということは、本当に自身を磨いていかないといけないと思います。

アドバイザーと相談者の共同作業。今の自分のことばかり気になって、もやもや不安がある。自分でこのようになりたいというお祈りをして、本当に望む自分の姿を自分自身で摸索していく。自分がこのようになりたいと思っているものに対して、どういう生き方をして近づこうとしているのか。それは無意識にしているケースがすごく多いです。

あとは、六つの富のバランスをチェック。これからの人生のステージを考えていく。これから自分が人生終わるまでどのようにして生きたいのか。その中で特にこれから2~3年。どのようなことに注力していきたいのか。そして最後にそれを実現するための現在の資産、負債、収入、支出の確認をする。ここまでがライフプラン的なステージですが、次は運用にだんだん入っていきます。退職後の資産形成、コアポートフォリオ。DIY資産形成、資産運用の投資方針書を作る。そして投資銘柄の選択。口座開設。銘柄の選択は全世界のグローバルな株式インデックス、一銘柄でいいわけです。

そして積立投資を開始する。アドバイザーは相場が大きく下がってしまっただけで相談者が不安になったら癒しを与えてあげる。ポスト定年に近づいてきたら六つの富の最終チェックをする。そして最後に年金や補助的な支援、予定される大きな支出。定年のライフプランを考える。

ポスト定年でプレリタイアメントの時期も大切です。お小遣い目的で働いている。退職金運用資金取り崩し計画を考える。ポストリタイアメントとなったら、これは完全に仕事を辞める。資金取崩し計画、超長期投資。そして贈与・相続プランニング。このような長い人生を通じての伴走してくれるのが本当のアドバイザーです。講演では、人生のステージの分割法や、働きの時代で大切な二つのことについて、また、資産運用の六つの階梯の説明、学び多き本多静六先生の処世訓を解説くださいました。

このページを印刷する

カテゴリー

FIWAマンスリー・セミナー講演 2

タグ

◆ 【Vol.231】 2022年03月15日発行

2022年3月13日

トリビア・コーナー

【Vol.231】 知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸

1945年生まれ。1968年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員（調査本部長）を務める。2004年に退職。Facebook上での氏のトリビア投稿は好評を博している。

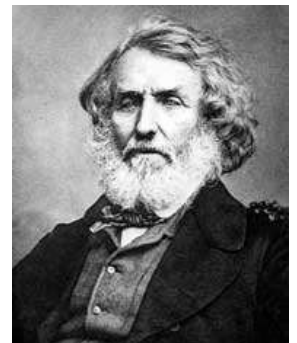


エベレストの標高は？

世界で一番高い山といえばエベレスト。ネパールではサガルマータ、中国のチベット地区ではチョモランマと呼ばれている。

このエベレストだが、多くはその標高を8848mとしている。これは、1954年にインド測量局が三角測量で出した数値で、これが公式標高として定着している。

しかし、1999年に全米地理学協会がGPSで測定したところ、実は8850mだということが判明。さらに、2005年には、30年前に8848mと測定した中国が、山頂にある雪氷の厚さを差し引いた8844mだと発表した（厳密には地殻変動などの影響によって標高は年々変動していると考えられている）。



このように、エベレストの標高は、測量のたびに変わっている。ちなみに、エベレストという名前は、前述のインド測量局で長官を務めたジョージ・エベレスト（ウェールズ生まれ、1866年76歳没）にちなんで命名された。

・写真はジョージ・エベレスト（Wikipediaより）

上毛高原駅（仮称のまま40年）

上越新幹線（東京駅—新潟駅）は1982年11月に開通して今年で40年になるが、上毛高原駅（群馬県みなかみ町月夜野）は仮称のままだ。一昨年12月に「今でもどこにあるのか分かりにくい」と駅名変更を求める動きがあった。

新しい駅名の候補として「みなかみ」と県北部の中心都市「沼田」や知名度の高い「尾瀬」などを組み合わせた駅名が検討された。ただ、駅があるみなかみ町と周辺自治体では温度差があり、新駅名を絞り込むのは容易ではなく、JR東日本への同意取り付けや、駅名変更に伴う費用負担をどうするのかなど課題が多く、正式駅名になるにはまだまだ時間がかかりそうだ。

個人的には「上毛高原駅」を「みなかみ駅」に、現在の「水上駅」（JR上越線）を「水上温泉駅」に変更するのが分かりやすいと思うのだが・・・

小便小僧だけでなく、小便大人もある

小便小僧といえば、世界各地にあるがベルギーの首都ブリュッセルにある像（1619年彫刻家ジェローム・デュケノワが製作）がとくに有名である。ただ同様のものは世界各地に存在している（日本にもある）。ところが、小便大人なる像もある。

小便大人があるのはチェコの首都プラハで、大人2人が向かい合って小便をしている。この小便大人には驚くべき仕掛けがあり、携帯電話で好きな文字をリクエストすると、腰が動きだし、水面にその文字を書いてくれる。この像は街中で平気で用を足すチェコの男性が多いことを見かねた芸術家が2004年に制作したものである。

- ・写真はプラハにある小便大人

小便小僧だけでなく、小便大人もある



小便小僧といえば、世界各地にあるがベルギーの首都ブリュッセルにある像（1619年彫刻家ジェローム・デュケノワが製作）がとくに有名である。ただ同様のものは世界各地に存在している（日本にもある）。ところが、小便大人なる像もある。

小便大人があるのはチェコの首都プラハで、大人2人が向かい合って小便をしている。この小便大人には驚くべき仕掛けがあり、携帯電話で好きな文字をリクエストすると、腰が動きだし、水面にその文字を書いてくれる。この像は街中で平気で用を足すチェコの男性が多いことを見かねた芸術家が2004年に制作したものである。

- ・写真はプラハにある小便大人

中国には正式な国鳥

日本の国鳥はキジで、他の多くの国でも国鳥がある（例えば米国はハクトウワシ）。しかし、中国には国鳥が正式にはない。日本では1947年に日本鳥学会が国鳥としてキジを選定した。国の法令としての根拠はないが、キジは日本において昔から親しまれてきた鳥である。

中国の国鳥が正式に決まっていない理由には日本が関係している。2004年に中国で国鳥を決めようという動きがあり、インターネット上で人気投票を行ったところ、1位にタンチョウ（丹頂鶴）、2位にトキが選ばれた。

しかし、1位のタンチョウの学名は「*Grus japonensis*」で、日本のツル（鶴）という意味。さらに、2位のトキの学名は「*Nipponia nippon*」（ニッポニア・ニッポン）であり、こちらも名前に日本が入っている。このようにタンチョウとトキの学名に「日本」が入っていることから中国国内で議論が巻き起こり、結果的に中国の国鳥にツルもトキも採用されなかったのである。

「〇〇富士」は47都道府県すべてにあり、東京都は母島の「小富士

富士と呼ばれる山は「郷土富士」と呼ばれ、その数は47都道府県すべてにあり、全国で300超ある。地元の人は郷土富士の名をほとんど知っていると思われるが（青森県は津軽富士＝岩木山、鳥取県は伯耆富士＝大山、鹿児島県は薩摩富士＝開聞岳など）、東京都の場合は知る人はあまりいないのではなかろうか。

東京都の「〇〇富士」は小笠原諸島の母島にある「小富士」。小富士は富士の名がつく日本最南端の山であり、その標高は86mしかない。

このページを印刷する

カテゴリー

トリビア・コーナー

タグ

◆ 【Vol.231】 2022年03月15日発行



📅 2022年3月13日

動画紹介

【Vol.231】FIWA動画紹介（竹中ツール紹介）

岡本 和久

FIWAのホームページでトライアル版を無料公開している龍谷大学竹中正治さんが開発されたポートフォリオ分析ツールを使って二つの分析をしました。みなさんも色々と遊んでみてください。今回、以下の動画で紹介するのは

- TOPIXと日経平均のリスクとリターンはどれくらい違うか
- アメリカ株と日本株の効率フロンティアを描いてどのような配分が良いかを資産するというものです。

特別投稿 龍谷大学教授、竹中正治氏が開発されたポートフォリオ分析ツールのトライアル版がFIWAのホー...



もちろん過去のデータに基づいた分析ですが、分散投資の有効性はお分かりになると思います。

このツールをさらに高度化するための資金集めをクラウドファンディングで行っています。ご協力いただければうれしいです。

[このページを印刷する](#)

カテゴリー

動画紹介

タグ

📌 【Vol.231】 2022年03月15日発行



📅 2022年3月13日

FIWA理事リレー投稿

【Vol.231】FIWA®代表理事リレー投稿 「気になるあの人あのことひとつひとつ話 Vol.7」

クラウドファンディングで「株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト」の本格版を作りたい！

寄稿：FIWA®協会副理事長 岩城 みずほ

みなさんこんにちは。「気になるあの人、あのこと、ひとつひとつ話」は、クラウドファンディングご協力のお願いです。私たちNPO法人「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA®」は、2月21日からクラウドファンディング「**もっと投資を身近にするために とっても便利なツールを世の中に提供したい！**」を実施しています。

誰でもできる「長期・分散投資」の有効性を実感できる画期的な「株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト」の開発資金を集めるためのものです。クラウドファンディングのプラットフォームはREADYFORです。すでに実施中で、3月4日現在、目標金額の50%を達成した状況です。



このソフト、「株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト」は龍谷大学経済学部竹中正治教授が作成されました。トライアル版は、すでに私たちFIWA®のWebサイトで公開していますが、長期過去データに基づき、株価指数連動型の積立投資のリスクとリターンなどが分かりやすく試算できます。

もちろん過去のデータに基づいていて、将来も同じようになるということではありませんし、投資をする意思決定を促すものではありません。

しかし、たくさんの金融機関等が出している、一直線で右肩上がりのシミュレーション・ソフトよりリアリティがあり、もし、実際に投資をしていたらどうなっていたかを知ることができます。

■本格版ではどんな機能が追加される？

みなさんに応援していただいた資金で作る本格版は次のような機能を考えています。

1. 対象銘柄数を増やし、国内外20種程度の株価指数に連動した長期・分散の定額積立投資のリスク、リターン、運用結果が、その途中経過も含めて簡単に分かります。複数銘柄への投資分散効果も確認できます。投資信託選びの有力な判断材料を提供します。
2. 過去のシミュレーションで得られたリターンとリスクに基づいた将来シミュレーションを可能にします。

例えば、今後20年間で3000万円の資産形成を実現するためには、毎月いくらの積み立てを行えばよいか、資産時価総額の振れ幅はどの程度になり得るかなどが一目で分かるようになります。

個人的には、ポートフォリオのリスク・リターン分析ができると、時間軸での家計と組み合わせてアドバイスに使えるかも？と考えたりしています。

そのほかにも、皆さんからのご要望やアイデアをいただき、追加機能を考えたいと思っています。

■賢い資産形成を志すみなさまへ

私たちFIWA®理事長 岡本和久からのメッセージもお伝えします。

投資の一步を踏み出せないのは、『下がるかもしれない』という恐れがあるのもひとつでしょう。でも、資産形成はある程度コントロールできるのです。その方法が長期投資と分散投資です。つまり、少数の投資対象を短期で売買するのではなく、幅広く分散された投資対象を長期で保有すると企業の価値の増加を反映して資産の価値も上昇するのです。そこで、このシミュレーション・ソフトを使い、過去30年の日米の指数を前提にいろいろな組み合わせ、いろいろな時期を選んで運用をしていたらどんな結果になったかを見てみてください。例えば、日経225平均株価と全銘柄（東証一部）を対象とするTOPIXでリスクとリターンがどのように異なるのか、さらにそこに外国株を加えるとどうなるのかなどが簡単にシミュレーションできます。きっと「長期、分散という理論は正しいのだ」ということを実感していただけたらと思います。

■リターンのご紹介

本格版の使用権は、年間2万円（税別）を予定していますが、ご寄付をいただいた方には、1万円でご購入していただけます。

クラウドファンディングでは、5千円をご寄付いただくコース、1万円から50万円までの購入型のコースをご用意しています。それぞれ返礼品（リターン）は魅力的なものをご用意しております。例えば、クラウドファンディング限定で投資に精通した豪華ゲストをお迎えする「返礼特別セミナー参加権（3回実施）」や、私たちに何でもご相談いただける「お食事付きコンサルティング権」など。

竹中先生のワークショップでは、各種の具体的なシミュレーション結果などに基づいて、どのような選択をすれば効率的な資産形成ができそうかなど、シミュレーション・ソフトの使い方とあわせて解説します。

岩城のワークショップでは、人生のさまざまなお金についてのご相談をお受けして13年、ようやく掴めてきた相談業務のポイントと合わせ、当シミュレーションツールの効果的な使い方などもお話したいと思います。また、参加者のみなさんと一緒にツールの使い方なども考えてみたいと思います。

本シミュレーションを使ってぜひ投資体験をしてみてください。分散投資をすることで、リターンやリスクがどう変わるのか見てみてください。期間や配分を変えて、いろいろシミュレーションしてみてください。どなたでも無料で使っていただけます。

家計の資産形成応援ツール

株価指数連動定額積立投資のシミュレーション・ソフト



 特定非営利活動法人「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA」

ぜひみなさまの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

[クラウドファンディングプロジェクトページ](#)

このページを印刷する

カテゴリー FIWA理事リレー投稿

～ママになるには心とお財布の準備が大切！～

赤堀 薫里【CFP®】

「すみません。当院では里帰り出産の検診は受け付けをしておりません」

結婚後、東京へ住まいを移し1年半。ママになったかもしれないという不安と喜びが交錯するなか、初めて産婦人科を訪れたときのことでした。産科医不足の話はメディアなどを通じ耳にはしていたものの、まさか自分自身が直面するとは夢にも思いませんでした。

東京が地元でない私にはどこの産院を選択すればいいのかわからず途方にくれるなか、ようやく検診してもらえる病院に巡り合えた安堵感は今でも覚えています。妊娠3ヵ月と診断された次は、里帰り出産ができる病院探しが待っています。姉たち二人がお世話になった市立総合病院にまずアクセスしたところ、総合受付の時点で門前払いでした。これは産科医が足りないため、新規の分娩予約は受け付けをしないというのが理由でした。またホームページには、「ハイリスクの妊婦はお断りします」というような文面が冷たさを放ち、何かあったときはどこへ搬送されるのかという不安にもかられたのでした。

「無事出産できる場所があるのかしら？」と、お産難民という言葉が頭をよぎるなか、2軒目の評判のいい個人の産院ではすでに満員と断られ、何とか3軒目でようやく出産場所を確保。少子化対策といいながら、出産できる場所すら満足に用意できていない世の中にいいようのない不安と疑問がわいてきました。

妊娠がわかり、すべてにおいて初めての経験である私は、出産・産後の準備と今後必要になる費用の計算へと準備を進めました。費用は、ママ用品（マタニティーウェアなど）、赤ちゃん用品（ベビー服、ベビーカーなど）、検診費、教育費と大きく4つに

わけました。準備が万全でなくても、ママになるために身体は少しずつ、そして確実に変化を遂げていきます。時折心の準備が身体の準備に追いつかず戸惑いを覚えてしまうこともありましたが、人間の身体の神秘にただただ驚きの連続でした。

そしてまだ見ぬわが子の存在を最初に実感したのが、産院で妊婦検診を受けたときのことで。小さな生命の姿を、この目でエコーを通じて確認したときは自然と涙がこぼれてきました。胎児が成長を遂げるにつれ母になる自覚が少しずつ芽生え始め、若葉マークのママも一步一步、歩み出します。今まで自分第一優先の人生でしたが、自分よりも大切なものが誕生したのです。

この妊婦検診は、無事出産できるようにママや赤ちゃんの健康状態をチェックし、早期発見、早期治療をするために欠かせない大切なもの。しかし保険適応外のため、全額自己負担となります。トータル14回程度の検診を受けるこの費用は、1回の検診費が3000円から7000円までと、病院によってばらつきがあります。また、検査内容によっては1万円を越すところもありますが、大体平均は5000円弱くらい。少子化対策と子育て支援の一環としてこの費用の負担を少しでも軽くしようと、厚生労働省が妊婦検診費用を少なくとも5回分は補助し、残り9回分は平成22年度までの間に国庫負担（2分の1）と地方財政（2分の1）で支援するという方針を打ち出しました。私の住む区（住民票がある）では、すでに14回分妊婦健康診査の公費負担をしてくれるというお財布にやさしい町でした。同じように住民税を払っていても子育て支援に力をいれている自治体なのかどうか、目に見えない隠れ財産のチェックも必要だといえそうです。

～出産時育児一時金～

赤堀 薫里【CFP®】

「どっこいしょ」という言葉が口癖になってきている今日このごろ。妊娠から数えて40週目である私の出産予定日は、2月14日。そう、バレンタインデーです。10カ月あたりから、さらにヒートアップしていくおなかの子は男の子のせいか、前に前にせり出し足元が見えにくくなってきました。メタボリック症候群になったらこんな感じなのかな～？と思いつつ、わが子と一体でいられるあとわずかなこのときを楽しんでいます。命がけでこの世に新しい生命をつないでいく出産。母親であれば誰もが経験してきた道です。私にとっては未知の世界だけに、無事出産することができるのかという不安と、わが子をこの手で抱ける喜びが交錯するなかで、その日を待ち望んでいます。

お医者さんにも予測不可能な出産時期を決めるのは、実はおなかの中の赤ちゃんです。そろそろ羊水の中での生活が窮屈に感じたときに陣痛のサインを母親に送ってきます。まさに母親と赤ちゃんの初めての共同作業が始まる瞬間です。この出産に関する不安が少しでも和らぐためにと、うれしい制度が今年の1月からスタートを切りました。その名も産科医療補償制度。産科医不足の追い風になっている分娩事故訴訟の回避や、産科医療の質の向上を図るために作られた制度です。この制度は、分娩に関連して重度の脳性まひが発生した場合に、その家族に経済的補償をします。補償対象は出生体重が2000g以上かつ33週以上(28週以上の子に関しては個別対応)の子で、身体障害者等級1・2級相当の重症者になった場合、準備一時金として600万円、補償分割金として2400万円の総額3000万円が支払われます。

しかし気をつけなくてはならないのは、出産する分娩機関がこの制度に加入していない場合は補償対

象外になるということ。残念ながら、分娩機関の加入率は100%にいたっていません。また、この補償制度への掛け金3万円は分娩機関が負担します。一瞬うれしい気がしますが、実はこの3万円はそのまま分娩費に上乗せされるため、最終負担は妊産婦がすることになるのです。そのため負担増となる3万円分を上乗せした出産育児一時金が、同じく今年の1月の出産より35万円から38万円へと引き上げられました。この出産育児一時金とは、公的な医療保険制度からの現金給付であり、出産時にかかる費用を後払いしてくれるものです。

この出産時にかかる費用、実は分娩機関によって幅があります。安いところは30万円以下、高いところは50万円も要します。どんな出産スタイルを望むのかその人の価値観が費用に投影されるでしょう。この出産育児一時金は時限措置ではありますが、2009年10月から2011年3月までの間の出産に関して42万円へとさらに増額される予定です。出産は保険適応外なだけに、まとまった金額を準備しておかなければなりません。若い夫婦には費用の面で妊娠を躊躇するケースも出てくるでしょう。そこで上手に活用したいのが平成18年10月より始まった受取代理制度です。通常、父親か母親が分娩費を病院側に支払った後で、保険者から出産育児一時金をもらいます。しかし、受取代理を事前に申請することで、医療機関などが直接保険者から出産育児一時金を受け取るため両親は分娩費の立て替えをしなくても済みます。

子どもは未来の日本の担い手です。親になるという不安は精神的な面も含めいろいろありますが、少なくとも金銭的な理由であきらめることがないように少子化対策のさらなる後押しを期待したいものです。

～子ども誕生後、 忘れちゃいけない手続き編～

赤堀 薫里【CFP®】

「その笑顔がでていたようだったらまだまだだね～。痛みは7合目というところかな。初産だし、出産は夕方くらいになると思うよ」

陣痛室での先生の言葉に、分娩までの痛みとはいったいどれほどのものなのか、正直気が遠くなりました。ちょうどお昼どきだったため、ランチが運ばれてきたもののおかずは口にできず、スープをこぼしながら飲みきるのが精いっぱい。

今までの陣痛の痛みは呼吸法で逃すことができたのに、今回の痛みは尋常ではありません。それもそのはず、再度子宮口を確認してもらったところ10cmの大全開でした。すぐさま分娩室へ移動し、3回りきんでスリと生まれたのが、わが息子「葵伊」です。平成21年2月20日午後1時23分。身長48cm、体重3066gの元気な男の子でした。

今まで胎動で感じていたわが子の姿を目の前にして、人間の神秘さに感動したことを覚えています。女性として生まれてきてよかったと、しみじみ感じたときでした。「出産は、お母さんが苦しいときは赤ちゃんも苦しいの。なるべく痛みを呼吸法で逃して赤ちゃんへの酸素が不足しないようにしてね。苦しみの先にはわが子に会えるという最大の喜びが待っているよ」

そんな先輩ママの励ましメッセージを胸に挑んだ初出産は、自分だけのためだったら到底耐えられない痛みでも、わが子のためには不思議とパワーが出てきました。一人で大きくなった気がしていた自分自身も、こうして親から誕生させてもらったのかと改めて両親に感謝したものです。

運よく安産であり、気になっていた母乳の出も順調ということで、退院後新米ママはお気楽気分で葵伊と2人3脚の奮闘を始めました。病院では授乳時間が決まっていたため、葵伊の腹時計とは無頓着で授乳していましたが、退院後はそうはいきません。

いよいよ万年睡眠不足、1～3時間おきの授乳の開始です。オムツ替えも初めのうちは「そんなやり方では葵伊君の足が脱臼しちゃうわよ！」と、怒られたほど心もとない新米ママもおしっこをかけられたりうんちを噴射されたりと、失敗を繰り返すうちに徐々に手早くできるようになってきました。

初めのうちはちょっとした異変にすぐにオロオロしていたのが、少しずつ抱っこする手つきが自然になるように、日を追うごとに葵伊との生活のリズムをつかめるようになってきました。単身で頑張っている新米パパの最初の仕事は、生後14日以内に提出しなければならない出生届の提出です。住民票で息子の名前をこの目で確認したときは、改めて家族が3人になったのだと実感がわいたものでした。

続いては児童手当金の申請です。これは3歳未満の子どもには月額1万円、3歳以上12歳の3月31日までの1番目・2番目の子どもには月額5千円、3番目以降の子どもには12歳の3月31日まで月額1万円が支払われます（所得制限あり）。この児童手当金は基本的に請求月の翌月分から支給対象となります。うっかり親が申請し忘れると、さかのぼって支給されることはないので請求もれのないように気をつけなくてはなりません。また、医療費のうち保険診療の自己負担額を助成してくれる子ども医療費助成制度の申請も忘れてはいけない存在です。ちなみに小学校に上がる前（義務教育就学前）までは自己負担額は2割、それ以降は3割負担ですが、この自己負担額部分が助成されるわけです。これは住民票のある自治体によって助成してくれる期間が異なりますので要注意。ちなみに私の住む街では中学校3年生まで助成してくれるので、新米パパ・ママには心強く感じられます。

次回はいよいよ実家から本拠地へ戻り、本格的な新米ママの奮闘記をお伝えします。

子育ては長期投資？

赤堀 薫里【CFP®】

「ミルクが出ない！」

悲痛な叫び声をあげたのは、出産後の1カ月健診を終え、いよいよ実家から本拠地のわが家へ戻ってきたの早々の出来事です。実はこれで4回目。葵伊専用のおっぱいは板のようにカチカチに堅くなり、熱を帯びた状態で赤くはれ上がってしまいました。

いつもどおりミルクは製造され続けているのに、乳腺がつまっているため、おっぱいに貯めつづけられている一方なのです。発熱はしなかったものの、まさに乳腺炎一歩手前の状態。おっぱいを温めたり、マッサージをしたりと、半分ノイローゼになりました。

しかし、いつも最後の救世主として登場してくれるのは、わが息子葵伊です。何度も出ないおっぱいを吸ってもらい、つまりを開通させてもらうとウソのように痛みは消え、いつもどおりのおっぱいに戻ります。

初めのうちは、人生初の巨乳生活に鏡の前で一人にやけていましたが、葵伊の需要以上にミルクを供給できるこの状態に、妊娠前の小ぶりの胸を懐かしく感じてしまうものです。

自分自身に起こる初めての身体の変化が、葵伊の成長とともに段階をおって次から次へと訪れるため、日々とまどいの連続です。

しかし、わが息子の頼りなかった腕や足も丸みを帯び、日々たくましく成長を遂げていくさまはうれしいものです。主人のふくよかな体も、葵伊の抱っこで少しずつ鍛えられていくことを密かに願っているのですが……。

葵伊と3人で始まった生活は、もちろんすべて葵伊が中心でまわります。彼の生活リズムには残念ながらまだ法則性は見いだせません。朝・昼・晩の区別ができず、起きている時間帯と眠っている時間帯もばらばら。日々、先が読めないため、先手先手で

行動を起こさないと、自分の時間どころか家事もできずに終わってしまいます。ですから、体験学習をしながら、時間の使い方の大切さを息子に教えてもらっています。

また、母乳のわが息子はまだまだ飲み方にムラがあるため、1～3時間おきにおっぱいの登場になります。特に葵伊は体力があるようで、昼夜問わず比較的起きている時間が長いようです。せめて3時間ぐらいためて寝てくれると、ママの体にはずいぶんと楽なのにね、と心のなかでつぶやきながら、いつか朝まで眠れる日が私にも訪れるだろうと自分を励まし奮い立たせています。

どんなに暗く長いトンネルも出口はきっとあるのだと、彼は私に教えてくれているのでしょうか。気が付けば、葵伊から人生勉強をさせてもらっている毎日です。日に日に表情が豊かになり、昨日できなかったことが今日はなんなくやってしまう彼の変化に目を細めながら、パパとママも彼の成長においてけぼりを食わないように必死でついていっています。

つくづく思うことは、子育てとは長期のスパンで行う、見返りを求めない投資だということ。結果は一朝一夕では得られません。彼がどんな人生を送るのか、そしてどんな人間となり、社会とかかわっていくのかこれからとても楽しみです。

また私自身も、親としてどう成長させてもらえるのか、何十年後の私に出会える日を心待ちにしています。

今は、葵伊におっぱいをあげて、おしっことうんちを取って、お風呂に入れて、一緒に遊んで、合間に家事を行って、という単調な日々の繰り返しですが、彼との一瞬一瞬を大切にしながら、この何げない毎日の積み重ねがこの後どんな結果へとつながるのか、少し視線を遠くにもちながら奮闘していきたいと思います。

<モデルポートフォリオ:2022年2月末の運用状況>

単位: %

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円
4資産型	積極型	-1.39	10.06	8.70	11.48	14.63	0.52	27.03	65.01	136.69
	成長型	-1.19	6.49	6.18	8.49	9.94	-0.14	17.76	42.06	95.40
	安定型	-0.98	2.96	3.53	5.39	5.82	-0.82	8.73	21.81	58.24
2資産型	積極型	-2.30	13.77	10.76	12.42	15.64	1.47	35.23	77.51	173.96
	成長型	-1.85	8.94	7.81	9.41	11.26	0.38	23.53	50.77	120.10
	安定型	-1.40	4.21	4.72	6.31	7.56	-0.73	12.32	27.43	73.12

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2021年2月末に1万円投資資金を積み立て始め、2022年1月末の投資資金までとする(2022年2月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。出所:イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
		成長型	25%	25%	25%	25%
		安定型	10%	10%	40%	40%
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

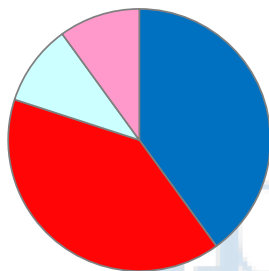
ポートフォリオは「インベストライフ」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

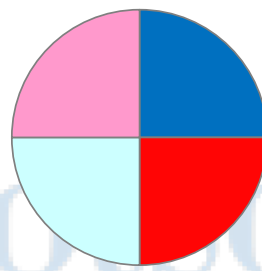
4資産型

- 国内株式: TOPIX
- 外国株式: MSCI KOKUSAI
- 国内債券: NOMURA-BPI (総合)
- 外国債券: FTSE WGBI (除く日本)

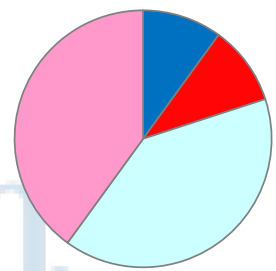
積極型



成長型



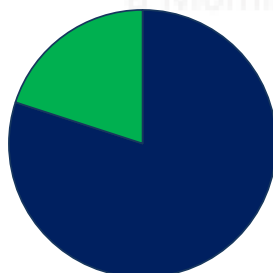
安定型



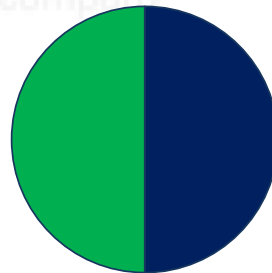
2資産型

- 世界株式: MSCI ACWI (含む日本)
- 世界債券: FTSE WGBI (含む日本)

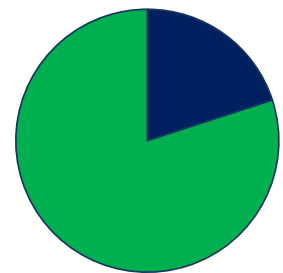
積極型



成長型



安定型



当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。
特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。

<直販系ファンド:2022年2月末の運用状況>

運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク 10年 (年率)	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の 月末資産額				2022年2月末		2021年 11月末	2022年 2月中
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 266万円	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 266万円	純資産 (億円)	基準価額 (円)	(前回掲載時) 基準価額 (円)	推計資金 純流入額 (億円)
さわかみ投信	さわかみファンド	-1.89	0.99	5.71	9.68	18.33	-4.13	14.78	48.59	195.04	11.50	68.87	178.31	536.97	3,268.6	29,558	30,738	6.31
セゾン投信	セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド	-1.68	7.01	6.92	8.82	11.23	-0.18	21.16	45.26	—	11.98	72.69	174.31	—	2,917.9	18,536	19,187	26.37
セゾン投信	セゾン資産形成の達人ファンド	-1.83	2.77	11.23	14.79	18.82	-4.62	30.38	87.19	—	11.45	78.23	224.63	—	1,755.0	29,227	31,868	28.01
レオス・ キャピタルワークス	ひふみ投信	-0.94	-9.03	7.41	15.63	18.41	-11.68	9.20	75.58	—	10.60	65.52	210.70	—	1,357.0	54,437	61,433	9.32
鎌倉投信	結い 2101	0.71	-6.15	3.42	6.51	10.10	-6.53	2.78	22.67	—	11.22	61.67	147.20	—	456.8	19,662	20,511	0.68
レオス・ キャピタルワークス	ひふみワールド	0.34	6.29	—	—	—	-4.22	—	—	—	11.49	—	—	—	381.1	15,201	16,890	4.07
コモンズ投信	コモンズ30ファンド	-1.13	4.02	8.58	11.92	17.58	-4.00	24.14	67.41	—	11.52	74.48	200.89	—	313.4	36,075	37,976	5.53
ありがとう投信	ありがとうファンド	-2.03	1.89	8.99	11.12	17.25	-7.51	26.34	63.34	—	11.10	75.80	196.00	—	166.2	24,916	28,332	0.71
ユニオン投信	ユニオンファンド	-2.01	-1.18	5.18	8.07	16.32	-4.50	15.54	39.50	—	11.46	69.32	167.40	—	95.2	28,874	29,943	0.65
クローバー・ アセットマネジメント	コドモファンド	-0.63	-5.26	6.79	—	—	-9.41	10.52	—	—	10.87	66.31	—	—	93.3	20,236	23,050	0.04
コモンズ投信	ザ・2020ビジョン	-0.80	-11.13	10.96	—	—	-13.87	26.81	—	—	10.34	76.08	—	—	65.9	21,516	26,431	0.96
レオス・ キャピタルワークス	ひふみらいと	-1.35	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31.4	9,789	10,141	-0.36
セゾン投信	セゾン共創日本ファンド	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15.3	9,912	—	15.38
クローバー・ アセットマネジメント	浪花おふくろファンド	-1.30	-7.77	5.81	10.10	14.93	-10.64	9.05	47.21	—	10.72	65.43	176.65	—	14.1	23,497	27,015	0.13

*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2021年2月末に1万円で積み立てを開始し、2022年1月末投資分までの2月末における運用成果とする(2月の積み立て額は入れない)。

出所: MorningstarDirect のデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせはイボットソン・アソシエイツ・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてお気軽にご送信ください。